

JCI-TC-112A

鉄筋腐食したコンクリート構造物の構造・耐久性能評価の体系化研究委員会

WG1（材料劣化）第1回 WG 議事録案

日 時：2011年 10月 4日（火）15時～17時 30分

場 所：JCI 第3会議室

出席者：国枝，大屋戸，武田，福山（敬称略）

資 料：WG1-1-1 第1回 WG 議事次第

WG1-1-2 委員名簿

WG1-1-3 第1回全体委員会議事録案

WG1-1-4 WG 構成

WG1-1-5 WG2 第1回 WG 議事録案

WG1-1-6 WG3 第1回 WG 議事録案

WG1-1-7 WG1 の活動に関するメモ（国枝）

WG1-1-8 鉄筋の腐食性状の評価方法例（大屋戸）

議 事：

1. 委員の確認

- ・名簿に基づき，WG 委員を確認した。

2. WG 設置の趣旨

・国枝主査より，全体委員会議事録および WG2，WG3 の議事録をもとに，WG1 の活動方針案について説明があった。基本的な内容は，WG2 および WG3 で使用されるインプットデータの整理および整備であること，その際時間軸に着目したデータの整備が望ましいことを確認した。

- ・「時間軸空間」という用語については，その定義を再確認することとした。

3. WG の活動に関する自由討議

・WG1 の活動に関して，自由討議を行った。主な内容は以下の通り。

- 構造性能の推定のためのインプットとしては，表面ひび割れ幅や腐食位置などの点検データを想定しておくのが望ましい。
- 構造性能（e.g.耐荷力）を推定することに特化しているが，腐食領域が小さい場合や部位によっては，構造性能には影響しないが，はく離・はく落が支配的になる場合が存在すると思われる。今回の委員会の主目的とはなっていないが，全体像を示した上で，構造性能を評価するシステムを構築するのが望ましいのではないか。
- 中性化などが原因であり，かつ都市部のコンクリート構造物であれば，構造性能よりもはく離・はく落に対する抵抗性を推定することのニーズが高いと思われる。

- 可能であれば、はく離・はく落に対する抵抗性を評価するためのインプットデータおよび評価手法についても調査する（評価方法に関してはWG2およびWG3と要相談）。構造性能の場合と何が違うのかを比較検討することにも意義があるかもしれない。ちなみに、構造性能のためのインプットデータは比較的局所データとなり、はく離・はく落の場合は面的なデータとなりそうである。現在の点検方法や点検内容に対して提言できる可能性もある。
- インプットデータの信頼性に関する議論も必要である。
- 大屋戸委員の資料によれば、精密な腐食性状の評価が構造性能評価の高精度化に繋がると思われる。ただし、部材レベルにおいて考慮すべき腐食部の大きさについての議論も必要ではないか。

以上